



心豊かに育ちあう

# 沢の子

令和7年度 重点目標

“すすんで考え学びあう、  
笑顔あふれる”  
子どもの育成

余市町立沢町小学校 令和7年12月25日(木) 第9号

## 希望をつなぐ

校長 森木 真也

早いもので本日、2学期終業式を迎え令和7年も残りわずかとなりました。

子ども達は2学期を振り返り冬休みの目標を決め課題を確認し20日間の冬休みを迎えます。この長期休業は年の瀬から始まり大晦日に元旦、そして正月にお出かけと続き、子どもたちにとってあっという間に3学期始業式がやってくる20日間です。家族や親せきと触れ合い、思い出深い冬休みとなることを願っています。特に日常では聞くことのできないお子さんの考えや将来のことも話せる好機です。

さて、今年の漢字能力検定協会が発表した今年の漢字は「熊」でした。関連ニュースの絶えない毎日でしたので、予想が的中した人も多かったのではないのでしょうか。

終業式で子どもたちに、もう一つの今年の漢字について話しました。それは、進研ゼミで有名なベネッセという会社で小学生から投票を募り、小学生が選ぶ今年の漢字です。それによると、「熊」は第2位でした。第3位が「初」。女性初の総理大臣の理由が多いようです。続いて第4位の「万」は大阪万博から来ているようです。5位の「米」は令和の米騒動から、6位の「高」は物価高や高市新総理から、7位の「新」も新総理が女性や万博が最先端で新しいという理由から、8位の「暑」は夏の暑さ記録更新から、9位の「推」は推し活が充実したという人たちからでした。推し活文化はすっかり若者から小学生まですっかり定着していますね。10位の「大」は野球関係です。大谷選手や大リーグから来ています。こうして2位から10位まで見ると、小学生も大人と同様に今年の世相を反映した漢字一文字をしっかりと選んでいるという印象を受けました。

そして、小学生が選ぶ今年の漢字第1位は何だと思いませんか？正解は・・・「楽」です。それぞれの学年で味わう出来事を、たくさんの子もたちが楽しんだということです。「楽」は漢検の今年の漢字の20位以内にも入っていませんでした。

この1位の結果を知り、何だかホッとした気持ちになりました。コロナ禍により、人との心の繋がりが希薄になったとも言われています。投票した小学生は正に入学以前の集団生活を含め、マスク生活・黙食・学校臨時休業・リモート授業などを経験しています。今では、アフターコロナやニュースタンダードなどの文言を聞くこともすっかり少なくなりました。しかし、多感な時期をコロナ禍で過ごした世代が「楽」を1位として選んだことが、子ども達に希望を乗せて令和8年がやって来るのではないかとポジティブな気持ちにさせてくれます。

今年の去る年は巳年。「脱皮を繰り返すように新しい自分に生まれ変わる年」といった意味があるようです。大晦日までにもう少し脱皮できることはないか、今年を振り返り新しい自分に備えたいと思います。

来る年の来年は午年。「活力・行動力・前進・情熱を表し、新しい挑戦や発展に良いとされる、エネルギーに満ちた年になる」と言われているようです。令和8年の目標に向かって希望が膨らむ年になりそうです。

令和7年中は、地域・保護者の皆様には沢町小学校教育へのご理解とご支援をいただき、大変ありがとうございました。長期休業期間中も冬の交通安全や雪山遊びに留意するなど、命を大切に過ごすことを指導しています。地域やご家庭でもお話しいただき、1月15日の始業式には子どもたち全員の元気な顔がそろい新年を迎えられますよう、ご協力をお願いいたします。

皆様 よいお年をお迎えください。